第43回 うつのみやこども賞だより

令和8（2026）年度　3回

市内５・６年生の選定委員さんたちが，月に４冊の本を読んで，年間で一番友達にすすめたい本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『家族になろう』

松村　美樹子／作　　トミイ　マサコ／絵　（文研出版）



令和８年　８月　２日

読めば愉快だ宇都宮 UTSUNOMIYA

宇都宮市立図書館
UTSUNOMIYA CITY LIBRARY

～読んだ本の感想より～

●鈴江と知也が，それぞれにつらさを抱えながらも，おたがいを理解し，本当の家族のような関係になっていくところがすごくよかった。
●保さんの「４人いっしょに幸せになる」という考え方がすてきだと思った。
●実際にありそうな内容の本で，ぜひ友達などに紹介したいと思った。
●この本を読んで，自分の家族をもっと大切にしようと思いました。
●離婚や再婚，今では多いことなのだと思った。しかも，クラスの男子と一緒だったら，私も最初の鈴江みたいな態度を取ってしまうなと共感できる本だった。
●昨日までは「他人」だったクラスメイトと「家族」になるという事実に反対できた鈴江がすごいと思いました。私だったら呆然として，声も出ないと思います。
●２人の心情がどのようになっていくのか，わくわくして読めた。
●いきなりの再婚でいろいろな思いもある中，ちゃんと家族になろうとした鈴江と知也が立派だと思いました。

『わたしはシュシュやりたいことしか、やっちゃだめ』

黒川 裕子／作　北澤 平祐／絵（金の星社）

●シュシュは人の目など気にせずに生きていて，かっこよかったです。
●シュシュほどではないけど，自由にしたいと思った。
●シュシュは自由人だけど，やりたいことはやるという自信がうらやましいなと思った。
●シュシュが自分のやり方で何でもかんでもやってしまうので，少し笑えました。
●シュシュが自分で服をアレンジして学校に着て行くのはすてきだなと思いました。
●田中シュシュのやりたいことしかやらないという行動を見て，自分もやりたいことしかやらない日を作ってもいいなと思った。

『友だちは名探偵』

加藤 元／作（主婦の友社）

●「うらしまたろう」の絵本と原典にちがいがあることにおどろいたし，自分達で考えたり，２人の考えを読んだりできて楽しかった。
●「うらしまたろう」の追究みたいに，あたりまえだと思っていたものも深く考えれば感じるものが違うと感じた。
●ほんのささいなところにヒント（猫）があったから，１つ１つ違う物語ではなく“１つ”の物語みたいでよかった。物語に入り込みやすかった。
●仲川さんが事件やナゾを解いていくなかで，大人や先生に立ち向かうす姿がかっこよかったです。
●友達や家族などの様々な人間関係がからみ合って，面白かった。

『サインポール』

大谷 美和子／作（文研出版）

●主人公と弟の心情の変化がおもしろかったです。
●お話にでてくるおじいちゃん・おばあちゃんと過ごすうちに主人公が前向きになっていって，主人公のことを応援したくなるようなお話だった。
●直美と翔太が両親の離婚と新型コロナによって初めて祖父母と過ごすことになる。そのとき直美はすべて投げ捨ててしまいたいと思っていたが，新しい環境，新しい場所で自分を見つめ直して新しい挑戦や目標を見つけ，歩んでいくところに感動した。
●最初は乗り気じゃなかった直美がおばあちゃんと話して，だんだん幸せをつかんでいくところが自分ごとのようにうれしかったです。